



ビジネス 2019年12月11日 / 01:53 / 5時間前更新

メルケル独首相、金融取引税案を歓迎 株取引のみ課税を = 関係筋

Reuters Staff

1分で読む



【ベルリン 10日 ロイター】 - ドイツのメルケル首相は、ショルツ財務相が策定した金融取引税の原案を歓迎するとともに、課税対象は株取引に限定すべきという考えを示した。複数の関係筋が10日、明らかにした。

首相は与党の非公開会合で、金融取引税を巡り、英も同様に対応しており、3カ国の足並みが大きく乱れることにはならないと語ったという。

南ドイツ新聞によると、ショルツ財務相は独など欧州連合（EU）加盟国10カ国に金融取引税を導入するための原案をまとめた。企業価値が10億ユーロ超の大手企業の株式を購入する場合に0.2%が課税される。10カ国の企業500社超の株式が対象になるという。

ルメール仏経済・財務相は独紙ハンデルスブラットに対し、ショルツ氏の提案を歓迎すると語った。

私たちの行動規範： [トムソン・ロイター「信頼の原則」](#)

PAID PROMOTIONAL LINKS

ランキング

気づいた時には手遅れ？ 肝臓の数値異常を放置するのが危険な理由

PR(カゴメ株式会社)

本場のチーズ&ハムを堪能する ちょっと贅沢なレストラン特集

PR(sopexa japan)

中国国有企業がまたデフォルト、財務状態に懸念広がる